

松島町教育委員議事録（10月定例会）

- 1 招 集 月 日 平成30年10月26日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、瀬野尾千恵委員（教育長職務代理者）
鈴木康夫委員、赤間里香委員
欠 席 者 佐藤実委員
- 4 説 明 の た め 出 席 し た 者
三浦敏教育次長、赤間隆之教育課長、大宮司綾学校教育班長、石川祐吾生涯学習班長、
佐藤淳中央公民館長兼文化観光交流館長兼勤労青少年ホーム所長、赤間香澄学校給食センター所長、
佐藤弘也学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
 1. 開会 平成30年10月26日（金曜日）午前10時00分 開会（録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 内海教育長・瀬野尾教育長職務代理者
 4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 - (3) 全国学力・学習状況調査の結果に係る対応について
 5. 議事
議案第1号 平成30年度（平成29年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告について
 6. 協議事項
 - (1) 平成30年11月定例会について
日程案：平成30年11月30日（金）午前10時00分 松島町役場3階 301会議室
 7. その他
 - (1) 松島第二小学校視察について
日程案：平成30年11月30日（金）午前8時45分 松島町役場集合
 - (2) にかほ市教育委員会委嘱 公開授業研究会
日程：平成30年11月6日（火）金浦中学校
日程：平成30年11月16日（金）平沢小学校
 - (3) 宮城県教育委員会指定 豊かな心を育む研究指定校事業（公開研究会）について
日程：平成30年11月19日（月）午後1時00分 松島第一小学校
 - (4) 宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会（全体会議）について
日程：平成30年11月14日（水）午後1時30分 宮城県庁2階 講堂
 - (5) 宮城県町村教育長会研修会について
日程：平成30年11月22日（木）午後2時00分 宮城県自治会館9階
 8. 閉会

6 議 事 録

1. 開会 午前9時59分

〔佐藤主査〕 みなさん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

これから、松島町教育委員会平成30年10月定例会を開会します。

本日、佐藤委員が所用のため欠席となっております。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕 みなさん、おはようございます。

今日は第一小学校のほうをごらんいただいたことを感謝申し上げます。

いろいろ学級によって大分やり方が違うということがわかったかと、雰囲気といいますかね、学級の風土というのがあるみたいだということを感じていただいたのではないかと思います。これをだんだんこういう形で持っていきたいなと思っております。

今日も会の時間が長引くようなので挨拶はこのくらいにします。

あと、学習発表会等においていただいたこと、感謝申し上げます。どうぞよろしくお願いします。

〔佐藤主査〕 ありがとうございます。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔佐藤主査〕 続きまして、2番前回委員会の議事録の承認について。

前回、9月28日の臨時会の議事録署名委員は内海教育長と瀬野尾教育長職務代理者でした。また同日に行いました9月定例会の議事録署名委員は鈴木委員と赤間委員でした。議事録の承認ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）ありがとうございます。

3. 議事録の署名委員の指名

〔佐藤主査〕 続きまして、2番議事録署名委員の指名について。

今回は内海教育長と瀬野尾教育長職務代理者をお願いします。よろしくお願いします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告について

〔佐藤主査〕 続きまして、4番、報告事項に移ります。（1）一般事務報告について、学校教育班からお願いします。

〔大宮司班長〕 では、一般事務報告、行事報告、行事予定、学校教育班所管の行事について報告します。

資料は1ページになります。行事報告はごらんのとおり、9月28日から10月26日までの期間で、資料のとおり行事が各種行われました。幼稚園の運動会や小学校は学習発表会、中学校のほうは新人大会などを開催しております。

続きまして、2ページ、行事予定のほうになります。10月27日から11月30日までの行事予定でございますが、11月にはかほ市のほうの公開授業研究会を毎年、行かせていただくことになっておりまして、11月6日は金浦中学校、16日は平沢小学校のほうに公開授業の研究会を勉強させていただきに行く予定としております。ご参加の先生方もよろしくお願いいたします。

あと、19日ですが、豊かな心を育む研究指定校に松島第一小学校がなっておりますので、そちらの公開研究会が開催される予定となっております。

主な行事は以上です。

〔佐藤主査〕 ただいまの学校教育班の報告について、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

〔佐藤主査〕 続きまして学校給食センター、お願いします。

〔赤間所長〕 3ページをごらんください。まず、行事報告でございますが、10月5日から本年度第2回目の栄養士による食育指導が始まっております。本日追加資料としてお配りしたものに写真をつけさせていただいておりますが、中学校と第五幼稚園のほうで行った模様をちょっとお知らせしたいと思って資料をつけさせていただいております。

次に、行事予定でございますが、引き続き食育指導が11月まで行われる予定となっております、10月31日には一

ういうところが出てくるかに思うので、そちらを踏まえながら、できるのであれば定例化していければというふうには考えているところでございます。

瀬野尾委員 わかりました。

〔佐藤主査〕 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

〔佐藤主査〕 続きまして、中央公民館・文化観光交流館・勤労青少年ホーム、お願いします。

〔佐藤館長〕 まず初めに、10月13日から14日にかけて岩手県の大槌町他に分館長研修で行ってまいりましたので、概要をちょっと説明したいと思います。

土曜日、早く出かけたんですけども、大槌町ということもありまして3時間ほどかかりまして午後一からの研修となりました。最初は語り部の方をお願いしておりまして、語り部は一般社団法人おらが大槌夢広場というところの方をお願いしたんですが、ここの代表は名古屋在住だった国際看護師の神谷さんという方が7年前、災害あったときにこちらに派遣を受けて大槌に来て、大槌の町の人と結婚してここの代表になったという話でございます。本人に説明を受けたわけではないんですが、本人は英語とか語学堪能でございまして外国人の方を中心に説明して歩いているということでございました。

まず初めに、そこについております大槌の役場の前に行きまして、今これほど瓦れきはなくてきれいになっておりまして、庁舎の前にはお参りする場所がございましてそこにお参りをしてからお話を聞いたんですが、少し残念な話ではございますが、1,800名ほど亡くなりまして役場の関係者も合わせて40名が亡くなったそうでございます。40名のうち、28名がこの庁舎で亡くなったそうです。その亡くなった理由としては、逃げ遅れたということになるそうなんです、地震がありまして津波が来るまで30分ほどあったそうなんです、その30分間に災対本部を役場の前に設けたそうなんです。それで本来であれば、この役場を見たとき、左手の奥のほうに段々の墓地がありましてさらにその上に公民館があるんですが、そちらのほうに逃げる予定にしておいたそうなんです。マニュアルではそういう話だったそうなんです、その災害地の何日か前にも大きい地震があってそのときも潮位が上がらなかったということもありまして、いろんな事情があって災対本部を役場庁舎前に置くことになったようでございます。さらに、悪いことに、それを見ていた町民の方も役場の人たちがそこにいるからということで逃げ遅れた方たちもいらっしゃったようです。

その逃げ遅れた理由というのが、大槌の役場というのは、2階の上に屋上があるんですが、うちのほうの旧役場を思い出してもらいたいんですが、旧役場は3階があって屋上がありましたね。ここは2階に屋上なんです。2階から屋上に行く階段というものがなくて非常用のタラップというんですか、手で持って上がる、そういうタラップだったそうなんです。水の浸水がかなり速くて、その亡くなった28名の方は上に上がれなかった方ということでございます。上がれなかった方はもっといたんですけども、水が上がってきたときに上に上がっていた人が引っ張り上げてくれて28名が亡くなったということでございます。

語り部の人の話なんですが、その災対本部をそこに設置しろと言ったのが今でも誰かわからないということらしいんですけども、私、業務をしている者としては、すごく話を聞くのも辛かったような状況でございました。

この後、逃げるはずの場所だったというところ、公民館のほうまで移動しまして同じような話を聞きました。その後、その2ページ目につけとききましたおしゃっちという木造のすごく立派な多目的施設のほうに移動しましてこちらの中を案内していただいたんですけども、ここも最新のホールということで多目的ホールにはうちのほうと同じような可動席がございまして。可動席は116席だったと思うんですけども、規模としてはうちのほうの公民館の5分の1程度の可動席があります。それからエントランスホール、最大の見せ場は3階に図書館がございまして。冊数は3万7,000冊ほど今あるそうでして、これは買ったものというよりも大体寄附されたようなものだったはずで。当日、土曜日だったんですが、図書館には人もかなりいまして館内も大分人が入っておりました。地元の方が半分、それから今でも取材に来られている方がいらっしゃるみたいで取材にいろいろな人が来ていたようでございます。木造なので圈内、自分たちのところの木が50%、それからその残りは県内産ということを知りました。

視察終わった最後にここの館長さんという方がいらっしゃいまして、その方は新聞とかにも載った方なんです、復興を始めて7年、ゼロ以下でまだゼロに戻っていないんだという話をされまして、なかなか大変だなというところでここの研修は終わりました。

その次の日なんです、資料にはないんですけども、伝承館という遠野の伝承園というのがありまして、皆さんも半分以上の方は行ったことがないようでしたのでこちらに伺いました。南部曲がり屋を中心に中を見せてもらいまして、おしら様というの、私たちもちょっとわからなかったんですけども、そのおしら様の伝説とかも

見たり聞いたりしまして、それから佐々木喜善さんという方がいらっしゃるんですね。遠野物語を話したというか、ちょっと私は柳田國男さんという方が遠野物語を出したんだと思っていたんですが、柳田國男さんに話をしたのが佐々木喜善さんですね。そういう話もちよっとわかんなかったもんですから、分館長さんたちもわかんなくて勉強になったようです。佐々木喜善さんは、ちょうど同じ時期なんで宮沢賢治さんとも親交があったようでございます。分館長の移動研修は以上でございます。

それから、その次なんです、松島の歴史を学ぼう（中級編）、これは白石のほうにおじゃまして、これも資料をあくまでも抜粋なんですけどもちよっとだけつけさせていただいておりました。この日、すごい天気良くて皆さん、大変喜んでお帰りになられたんですが、話としましては、戊辰戦争がちょうど今年は150年になるということなんです。150年ものか、まだ150年なのかちよっとあれなんですけども、公民館のガイド講座、こちら白石のほうなんです、そこで勉強されたボランティアの方5名の方とそれから白石の生涯学習課の職員と公民館の職員7名で対応していただいたところです。それで、箇所しますと5カ所に分けて説明を受けたそうなんです、一応テストケースというか、自分たちのお勉強ということもありまして、ボランティアガイドさんが1人ずつ説明をもらったということでございます。内容としましては、戊辰戦争を中心に近世の話をしていただいたということでございます。中級は以上でございます。

それから、19日金曜日ですが、第1回成人式の実行委員会の打ち合わせを行っております。これ前にもちよっとお話ししたかもしれないんですが、毎年、実行委員の選考はかなり苦労しているところなんです、今年度に関しましては卒業時にもう実行委員が決まっていたようでして、かなり仲のいい年代みたいなんです。その方たちに集まってもらいまして話をしたんですが、もう九分ぐらいまで打ち合わせできまして、本年度、どうなるか楽しみでございます。

それから、行事予定でございますが、27日、28日、交流祭が行われます。教育委員会の職員にも全員2日に分けて出席していただきます。委員の皆さんにもどうぞご出席をお願いしたいと思います。

それから、11月18日でございますが、分館長・主事・会計、これは3名、各分館から3名出席するんですが、これは歴史を学ぼうの中級編の多賀城編ですね、これと同じような方式で参加してもらう予定でございます。初級編の④、これはまだ未定でございます、後ほど通知する予定でございます。以上でございます。〔佐藤主査〕それでは、中央公民館等の報告について、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

(2) 教育長報告

〔佐藤主査〕続きまして(2)教育長報告に移ります。内海教育長をお願いします。

〔内海教育長〕私の方から2点ですね、委員さんの方にスタートカリキュラムと接続カリキュラムの完成版を差し上げておりました。幼稚園、保育所で10月頃から小学校を視野に入れてどのような指導をもらったらいいか、詳細にそこに書きとめておきました。また、小学校でもそういうのを幼稚園、保育所でやってきた上で小学校1年生として学級経営に役立ててほしい、授業を組み立ててほしい、仕付けに使ってほしいみたいな形で作っております。ただ、これは一般的、オールラウンド用なので、学校によってはまた朱書きが必要とはなりますけども、一応松島町教育委員会としてお示するという形で作成いたしました。どの市町村も作らなきゃならないという時期に差しかかっていますので、そういう意味では早く作れてよかったなと自画自賛していますが、あとはどのくらい活用していただくかと。

小学校でよくやってしまうのは、1年生が一番下の学年だからみそっかすみたいな形で幼稚園をやっている、それはもう既に幼稚園でやっているんだと言っているんだけど昔に戻る、もっと低いレベルに落してしまうと。例えば幼稚園では運動会なんかはもう相当走っているんだけど、小学校1年生になると、幼稚園以上走らないで運動会を終えてしまうみたいなことが逆に動き始めていることを解消するためのものがございますので、後でじっくりごらんになっていただいて、ご意見あれば私のほうに教えていただければと思います。

それから、2つ目は、全国学力状況調査の結果にかかわる対応についてということで、細かいことは三浦次長のほうからお話しさせていただきますが、今年から県、それから国の点数を出して保護者にも理解してもらおうということで、資料のほうにも載せておきましたが、各学校、同じような統一した書式でもって保護者に通知しました。10月1日付で通知をしたんで残り6カ月でどのような授業をするかと事細かくそこに書いて、校長、教頭だけが話してちゃちゃっとやるんでなくて、職員全員で話してそれで3月までの6カ月間、期待されるような効果を上げてほしいなということで私のほうからお話ししていました。

ただ、第五小学校だけ点数でやると、あの子がいるからだというような感じにも捉えられないこともないということで、第五小学校の校長先生と協議してこのような文言に、これは従来どおりの文言に替えているところで

ございます。

それでは、三浦次長のほう、細かくお願いします。

〔三浦次長〕それでは私の方から補足させていただきます。

まず、第一小学校の表をごらんください。昨年度までは第五小学校にあるように、「下回る」、「やや上回る」とかという表現をしておりましたが、今年度につきましては、平均正答率で出すということでした。これは松島町学力向上推進委員会という委員会がございまして、9月の会議で事務局が今年度は第一小学校ですけれども、各学校の研究主任、あとは担当校長の三品校長先生とあと私も入ってこのほうがいいんじゃないかという方向づけをして出したところです。

各学校は、実は小数第1位まで出ておりますけれども、全国の平均が整数値で出されておりますのでそれに合わせて四捨五入をして表記をしております。県内でも徐々に各自治体の町全体あるいは市全体の平均正答率を出しているんですけども、本町におきましては中学校が1校ということ、あるいは点数がひとり歩きしてしまうというマイナス面がございまして、各学校の保護者に学校毎に提示をするということ町全体の全ての平均正答率は出さないということにしております。

それで、第五小学校につきましては、今回は昨年度までと同じように「下回る」、「上回る」、「同じ」というような表現でさせていただきました。

この結果につきましては、来月、にかほの平沢小学校等も視察も行きますので、そういうものも入れながら、平沢小学校は全国より全てがより以上というような成果を出しているの、ぜひ学び取ってきたいと思います。以上でございます。

〔佐藤主査〕それでは、(2) 教育長報告と(3) 全国学力・学習状況調査の結果に係る対応について、併せてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

鈴木委員

細かいこと一つ教えてください。そのとき休んだ子についてはカウントされているんですかね。その方についてはテストってやってみたのかな。その日、休みの子とかいますかね。

三浦次長

その当日ですね。

鈴木委員

その子とかは。

三浦次長

入っていません。

鈴木委員

入っていないんだね。

三浦次長

当日欠席については。

鈴木委員

後から追加試験やって加味しているの。

三浦次長

入っていないです。

鈴木委員

入っていないということ、それはどこも全部同じですね。

三浦次長

県内。

鈴木委員

全部同じですね。はい、了解です。

三浦次長

すぐに梱包して出さなきゃない。ただ、欠席した子には、参考に学校内での配慮として自己採点をして子どもにフィードバックするということは個々の学校では使っているかなと。

佐藤主査

ほかにございませんでしょうか。

瀬野尾委員

よろしいですか。学習、いろいろと学校現場で先生方が教えている様子とか見ますと、そんなに手を抜いているわけではないだろうなということを思ったりするんですが、家庭学習をいつも1時間以上やっている子どもは全国を上回っているけど3時間以上の子は少ないって書いていましたが、小学校で3時間というのは結構長い時間ですよ。だから、3時間までは要求しないまでも1時間以上やっている子どもさんは、宿題をこなす程度かなというように思ったりするんですけど、家庭学習の実態というのはもう少しきめ細かく調査しなくてもいいんだらうか、町としてですね、町の中で。といいますのは、この間、中学生に最近の子どもの傾向って余り私もわからないんですが、宿題を終わった後、どうするのと聞いたら、宿題終わったら後は部屋でテレビを見ているというので、お母さんは、部屋で勉強しているんですけど、実際にやっているかどうかはわからないんですよとお母さんは言っているんですが、実態としては、本当に私が話を聞いて聞く子というのは限られている範囲なんですけれど、親は勉強していると思っている。でも、子どもは部屋でパソコンって言うんですか、ゲームやったり、テレビを見たりしていると。びっくりして部屋に自分だけが見るテレビがあるのと言ったら、「あります」って言うんですね。そうすると、結構家に帰って自分の部屋でテレビを見たり、そういうゲームをしたりという子は、周

りにも結構いるんだと聞いたら、「いますよ」という返事なんですね。そういうのを聞いたときに、その家庭学習の実態というのは、もうちょっと踏み込んで調べなくてもいいのかなと思うんですが、調べたからどうなんだということになりますけれど、今日もPTAとの会合ありますけれども、親御さんが自分のお子さんをどう育てたいと思っているのか、そういうあたりで話し合ったことってあるのかなって。PTAの中で、例えば自分たちの子どもをどのように育てていきたいとか、ある意味ではビジョンみたいなものをテーマにPTAで話し合ったりして、それを学校側と共有したり、また学校は松島の教育目標にあるように、こういう子どもを育てていきたいというものを出しているけれど、じゃ、それについて家庭ではそれなりの努力をしているんだろうかっていうことをとても感じるんです。不足しているんじゃないかなって。そこら辺はどうなんでしょうか。家庭学習っていうものをとても町としても大事に考えているし、私も幾らわからないと言ったって漢字の練習とか計算とか、それから単語の練習とか、そういうのは教えてもらわなくても勉強できることじゃないかと思うんですが、そういうところで非常に力が劣っているというのは、やっぱり家庭学習の充実振りが不足しているんじゃないかなと思うんですが、どんなもんなんだろうね。

三浦次長

まず、私のほうから。調査に関してですけれども、全国学生の小学校6年生と中学校については、前の会議でもデータ、町の様子をお示ししましたけれども、松島の傾向、大きいのが3時間以上あるいは2時間以上の部分が全国よりは少ないという、たくさんしている子は少ないけれども、中と申しますか、1時間程度の児童・生徒が小学校については多いですね。中学校についても、2時間以上が、例えば全国が25.9、県が24ところを松島が11.9ということで、中学生になってもなかなか増えないと。小学生と同じような時間になっていると。先日、宮城県の独自調査ということで小学校5年生と中学校1年生の調査も結果が上がってきたんですけども、今、ちょっとそれを分析し始めているところですが、全部同じような傾向があって、小学校ではそんなに県とかと差がないんだけど中学校に行くと多くならない、逆に少なくなってきたというのが中1の状態でした。そういう家庭学習の、瀬野尾先生もおっしゃるように、家庭での努力ということで進められる、いろいろ保護者への啓蒙もしながら宿題カードに保護者にも見てもらうような欄を作ったりとか、そういう努力は各学校でもしているんだと思いますが、先日、第二小学校の田辺先生などから、教師の指導力向上とこれまで邁進してきた家庭学習度の充実だけでは、やはり頭打ちのところ、頭打ちと申しますか、手がないということもあって、第3の方策を考えていかなきゃいけない時期に来ているんだということは独自におっしゃっていました。そこら辺もちょっと校長会なども連携して、これまでやってきた家庭学習の充実、指導力向上というだけでは伸びないんであれば、別の方策も考えなきゃいけないという、戦略を考えなきゃいけないところに来ているのかなとは感じているところです。

瀬野尾委員

よろしいですか。第3の方策を考えることは大いに必要だなと思うんですが、家庭学習というのがこれ以上、方法がないまでには行ってないとは私は思うんですね。だからそこをどう手をつけていったらいいのかなって。もう家庭だから入れないじゃなく、何か親達と勉強、やっぱり大事だあって、今朝のニュースで言っていました、宮城県の高校生が無気力だと、わからないでもないですよ。公立だけでなく私立の学校も、どのレベルで入れるかわかりませんが、一応全員入るじゃないですか。でも、高校の授業についていけるかという、ちょっとついていけないだろうなと思う子、いっぱいいますんで、その中で気力のある子というのは、だから勉強とはまた別な人間力としての力はもちろんあるんですが、この間もちょっと学校で会話しているときに、「先生、勉強だけじゃないですからね」って言われて、勉強だけじゃないけど、あなた、四則演算できなくてそれでも勉強だけじゃないのと言うのって私は言いましたけれども、そういう考え方で私は学歴関係ないけれども、やっぱり基礎学力というのは義務教育の段階でつけていかなきゃいけないと思うもんですからね、先生方も目いっぱい学校現場では努力していると感じますけれど、後は家庭との親と一緒に勉強させていくことって基本的な生活習慣つける上でも大事だということをもうちょっと進めたいなという気はしますね。ここで諦めてもう仕方がないんだという気にはなりたくないと思いますけどね。以上です。

三浦次長

そういう意味では、秋田の県民性というか、秋田の子ども達が家庭学習の量がすばらしいということも伝え聞いているんですけども、今、宮城県でも課題になっているメディアによる弊害というのがありますので、そういう秋田県にかほのメディアとのかかわりだとか、家庭学習の充

実の秘密みたいなものももしあれば、ぜひお聞きしたいなとは思っています。

瀬野尾委員
佐藤主査
赤間委員

そうですね。

ほかにございませんでしょうか。

よろしいですか。今回保護者向けにということで各学校から出ているということで、どの学校も3番目の対策と改善というところは、基本的には学力テストのほうの結果を踏まえてということでの対策とか改善策が提示されているという形だったと思うんですが、まとめの中に2番目に学習状況の結果、こちらのほうも全国を「上回っている」とか、「下回っている」とか、それぞれの学校で評価をしている部分に対しての対策とか改善というのが、今後、あってもいいのかなと思うんですね。なかなか難しいところはあるとは思いますが、例えば学校の決まりを守っているというところで全国を下回っているということで表示のある一小さんと二小さん、片や五小さんなんかは決まりや約束を守っているという意識が高いというような書き方にされてあったりいろいろまちまちなんですが、そういった部分でもしかしたらご家庭の保護者の方に向けて何か発信できること、そういったことがあるんじゃないかなと、勉強だけではなく、通常の生活パターンとか、生活行動、そういった部分でもしかしたら学校と家庭ともうちよっと共有して何かできる、もっといい方向に持っていくような取り組みができればいいかなというふうに感じました。

今回目標とか夢とかがあるというような答えをしている部分というのが結構高い数字に多分なっているんだと思うんですが、それはとてもいいことだと思うので、そういったことが子どもたちの間にちゃんと芽生えているということも逆にもっともっと意識をしていただいて、それを家庭の中でも引っ張り上げてもらうというような取り組みができるような仕組みを委員会さんのほうでも考えていただいたらどうかしらというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

内海教育長

じゃ、私のほうから。確かにそうですね、対策、教科に特化した部分がありますので学習状況の結果というか、そういうのも踏まえて黒丸ついているところをどうすればいいのかという話になってくると、これについての対策がないので、来年、考えていきたいなと思っております。委員会として、できればワンペーパーでやりたいなと思っていたので、ワンペーパーという裏まで使えますので裏も視野に入れながらちょっと後、学力向上推進委員会の先生方と相談しながら今のご意見を具現化できるかどうか考えていきたいと思っておりますので、あるいはここでできなければ、学校だよりとかでちらちらと書いていくという部分もありますので、何かの対策を取りたいと思っておりますので、以上でございます。

佐藤主査
鈴木委員
内海教育長

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

これを見て家庭の方々から逆に学校へのメッセージ、要望って聞きたいですね。

私も、今回、去年と違って数値を出したんですね。気になっていたもんで数値を出してうちの学校はこうなのかというご意見が来るのかと思ったら、然にらず（「来ない」の声あり）ほとんどなかった。（「関心ないんだ」の声あり）ちょっと戻りますけども、瀬野尾先生がおっしゃったように、家庭の関心をどうやって喚起させるかというようなことにもつながっていくんだろうと思っています。1つはマイナスもあるんだよということを家庭にも知ってもらって、もちろん、プラスもあるんですけども、プラス・マイナス知ってもらってご協力をいただきたいという部分も実は裏にはたくさんあったんですけど、ちょっと無関心かなという部分もあります。

今日のPTA役員との懇談会の中でもちょっと使おうかなと思ったんですけども、「学級担任の名前を知っていますかって」、こんな単純なこと、「わかんない」、多いです。お子さんが今、やりたいと思うことを2つ3つ挙げてくださいますと、挙げられません。今日は実験でいいかなと思ったので事務局には申しわけないけども、もうワンペーパー追加して、PTAの方々に聞いてみたいなと思っているところがございます。

今、ずっと考えているのは、ひよっとすると秋田って関心が高いかもしれないなとふと思ったんですね、保護者の関心が。ただし、義務を離れた高校は全く関心がなく全国的にも低い位置にいるんです、あんなに優秀だった子どもたちが高校はちょっと目も当てられない状態になります。関心がぎゅっと。それからもっと言うと、自死ですよ。大人になると自殺が秋田県は全国1位ですよ。何でそういうふうになっていくのかなというのが私の中では学力も含めてグルグル回って。ただ単純に、ただもう一つ、なんかちょっと議論があっち行ったりこっち行ったりするんですけども、私の松島の場合、あるいはほかの市町村の教育長と話しても今年の子どもたち

は余り良くないんだとかなるわけです。秋田だって良くない年があるのに何でああいう全国的な平均を維持しているんだらうか。それは保護者の力なのか、先生方の力がそもそもあるのか、宮城県の先生のほうが実力的に低いのか、保護者のレベルが宮城県のほうが低いのか、関心度ということです。そういうのもいろいろ考えると、悩みは尽きないんですけども、一つ一つ明らかにしていきたいと思っております。よろしくアドバイス等をお願いいたします。以上でございます。

ということで、鈴木先生へのお答え、ちょっとあっちこっち行きましたけど、最後に。

家庭の反応って大事ですね、こういうのを見ていたらばね。活用の仕方。

鈴木委員

普通ならわっと反応が出ますよね。

瀬野尾委員

ちょっとひどいとかね。ただ、各学校ではPTAの執行部あたりは出ているのかどうか分からない

内海教育長

ですけども、表立ってぎらぎらとこれについて話はないですよ。こういうこと言われたとかないですよ。ちょっとだからあれと思って構えていたんですけど、そういうことでよろしくお願ひします。

〔佐藤主査〕 それでは、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

5. 議事

〔佐藤主査〕 続きまして、5番議事に移ります。

議事は内海教育長の進行のもと行います。それでは、よろしくお願ひします。

議案第1号 平成30年度（平成29年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告について

〔内海教育長〕 それでは、私の進行のもと、行いたいと思います。

議案第1号 平成30年度（平成29年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告についてを議題とします。

事務局から提案理由の説明を求めます。よろしくお願ひします。

〔三浦次長〕 議案第1号 平成30年度（平成29年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告について。

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成30年10月26日提出、松島町教育委員会教育長名でございます。

別冊の報告書でございますが、11月発行を考えております。その後、議会の方にも12月議会には配付をしたと考えております。今回は33ページからの学識経験者の意見を入れましたのでそこを中心にご説明申し上げます。それ以前のところは、前にお渡ししたとおり、文言の誤り等は直しておりますけれども、そのままでございますので33ページからごらんください。学校教育関係を米川先生にお願いしました。生涯学習・中央公民館・スポーツ振興関係を片倉先生に依頼してご意見をいただいたところです。

それでは、ごらんいただいとわかるとおり、評価しますと、「いい取り組みをしている」という評価を概ねいただいているというふうに感じています。

この中で、最後にこういうところをしてほしいというところ、ちょっと抜粋して申し上げたいと思います。

33ページにつきましては、幼稚教育の充実、基本施策1)については、体育館や園庭プールなど施設の有効活用を図ってさらに努めていただきたいということがありました。

あと、4)については、保育現場の現状を考慮し、望ましい預かり保育のあり方ということで、これについて検討してみたいというご意見がありました。

ページをめくりまして34ページ、上から3行目ですね、IT、いわゆるICTだと思いますが、ICT有効活用の学習形態について今後、求められる課題であるというご指摘。

あとは、これも学校教育ですけども、4)松島の歴史と文化のところ、ここは大いに評価をしていただいと、大いにというのがついていると。

あと、5)番目、一方のところから、東日本大震災の経験ない児童が小学校についてはそうだと思いますけれども、写真、VTRなどの視聴覚教材等を整理して後世に生かすことが求められるのではないかというご意見でございます。

あと、基本施策3の1)については、そこの一番最後ですね、日本遺産について魅力発信、活用方法、今後も継続して充実してほしいと。

基本施策4、1)最後の後段です。少子高齢化が進んで、今後ともその地域で子どもを支える活動の充実を希望するということを書いていらっしゃいました。

3)日本遺産「政宗が育んだ伊達文化」についても、機会あるごとにクリアしてほしいということ。

あとは基本施策5、35ページになりまして、1) 後半、ふれあいスポーツについてですね、小学生から高齢者まで楽しめる町民ふれあいスポーツ大会の充実を期待する。

2) については、スポーツの運営指導の人材配置が課題ですので、今後、その改善策にのっとって期待をします。ということでした。

おわりについても、学校教育については、概ね良い評価をいただいております。

あとは、生涯学習につきましては、PDSA サイクルと、我々も今回勉強させていただいたんですが、PDCA が一般的に我々も使っているんですけども、これは片倉先生のほうから同じ提案者のデミング博士が後に PDSA というサイクルを研究をしてというふうなこと、文言を使わせていただきました。その手法を用いてさらに充実してほしいというご意見がありました。

前回瀬野尾先生にもご指摘いただきましたとおり、これを来年度の松島等の教育に生かせるものは生かし、あるいは予算編成に生かせるものは生かすということで検討材料にしていきたいなというふうに思います。

以上で報告を終わります。よろしくご審議をお願いいたします。

〔内海教育長〕 それでは質疑に入ります。質疑はございませんか。

(質疑)

瀬野尾委員

今年は昨年比べてこれが非常に早かったと思います。まず、努力に感謝したいと思います。それから、内容を見ましても、各前回、私、生涯学習班のほうの成果と課題がいまひとつ具体性が少ないように感じたなんて言ったんですが、私の見方が悪かったのが、非常に昨年はこういう点が指摘されたので、例えば芝を刈るあたりなど、そこら辺を今年はどういう方法を取ってやりましたとか、そういう表記が前回の評価を受けて今年はこのように改善しましたという表記が見られる、こういう表記がどんどん増えてくるといいなと感じましたので、改めて評価したいなと思います。

そして、前回鈴木委員さんからも指摘されたんですが、今、次長のほうからこれを受けて次年度の施策に生かしたいというお話でしたが、じゃこれを受けてどこを切り取って重点化していったらいいのかというあたりは、どこかで時間取るのか、またお任せするのか、どちらにしてもそのことをやはり吟味する場が必要じゃないかなと思いました。これは全体にかかわってですが、あと私が個人的に思っていて、この評価から、1つは平成32年から新学習要領が実施されるというあたりに向けて、デジタル教材が多く入ってきますよね。そのときにここにもあったんですが、モニターが充実されているのかどうか、今、一小さんで私も英語のときに使うんですが、結構引っ張りだこであっちで使っている、こっちで使っているって、使うことは大いに結構で教育委員会も推奨していることなのでそれだけ活用しているということは嬉しいことなんですけど、やはり教育現場はこれからますますそれらが必要なんだろうなと思いました。

もう一つ、ここにも書かれていることで時数の確保の問題で教育長先生もよくおっしゃっておりましたけれど、ある意味では、今まで地域が学校へいろんな形で協力してきたり体験活動とか、いろいろな物づくりもですよ、やってきたことが、逆に今度足を引っ張る形になってきた、足を引っ張るという言い方、悪いんですが、時数という意味で非常に困難を来す事態になっているということから、どの学校も改めて地域共同学習とか、そういうのをどのようにしていくかという検討が必要になるんじゃないかなと思いましたね。特に思ったことはその2点です。以上です。

内海教育長
三浦次長

今、瀬野尾委員からお話がありましたけど、お答えできる部分ありますか。

先ほど申し上げたとおり、まずこの改善点の中で予算編成がもう間もなく来月、我々、取り組み始めますので、正式に議会に提出する前に定例会のときにお示しをする算段になろうかと思いますが、そのときにこの予算についてはこの意見を反映したものの予算計上ですということも出てくるかもしれませんので、そのときにぜひご助言、ご意見いただければと思います。

また、松島の教育、来年度の松島の教育を作成する上でその予算に基づいた計画もあるだろうし、予算にかかわらずの指導力向上などの話も出てくるかと思いますが、それについても年度内に、今年早目に松島の教育を出すということを考えておりましたので、年度内にまたそれをご審議していただいて来年度の施策についてご意見などいただければと思います。

あと、時数確保については、今、松島まるごと学なんかでは多くの総合的な学習で取り込んでいるところもありますし、あと社会科の教科のところに入れ込んでいるという部分もある。できるだけ教育課程の中でぜひ地域の方と接する機会というのを入れて、ぜひ正規の教育課程が圧迫されないような形にはしなきゃないんだなというふうに思っているところでございます。今後も

CSコミュニティスクールでどう地域の方とかかわり、協力いただけるかというのは教育課程にある。例えば放課後にするとか、教育長が考えている一つの方法、午前5時間授業なんていうこともありますけど、それで放課後の時間を生み出すとかということもありますが、さまざまな手段もあろうかと思えますけども、今後、検討が必要にはなってくるかと思えます。

あと、デジタル教材についても、これも昨年度ですね、議会でも話題になりました。国のほうでも各教室に大型モニターは必要であると、あるいは教師用のコンピューターは必要であると。3学級に1つは生徒一人一人に行き渡るコンピューターが必要であるというようなところ。あと、本町においては、デジタル教科書の導入がまだ進んでいないこと、あるいは各教室での高速インターネットの接続がまだ行っていないということ、あるいはタブレットの活用ということ、何を順番に入れていったらいいのかというのが先生方の意見というか、入れる順序があるんだと思えます。そこら辺は順番を間違えないように予算のこともありますが、教育委員会としての要望というのはまとめていかなきゃいけないかなと思えます。

なお、各学校の授業で使う学習用コンピューターというのを今、5年リースでなっておりますが、そのリースの中身ですね、どういう機器を入れるのか、ハードを入れるのか、ソフトウェアを入れるのかというのは、やはり5年後とか、次の更新も見通したものにしていかなきゃないなと思えます。今年度、第二小学校が更新の時期になっていますので、まず第1段、していくところは考えなきゃだめだなと思えます。

内海教育長
鈴木委員

ほかにございませんか。

質問じゃなく感想。（「感想でも結構です」の声あり）立派にどうもありがとうございます。いろいろ項目で幼児教育、学校教育とあって、学校教育であれば例えば項目で一人一人の学力向上や心身ともに健全とあるわけですけども、これはこれでいいんですが、さっきの全国の学力・学習状況の結果がこうだと、あるいは不登校とかテレビで本県とか、結果にそぐわない結果が外から入ってきていると。これはこれでちゃんと努力してやっていますというすばらしいですよ、すばらしい。何かその実態とこの中で世界とのミスマッチが何かあるんじゃないかというのが議会で質問なんていうのはそういう視点から来ると思うの、逆にね。いや、立派にやっていますね、いいんじゃないですか、報告、指摘もあって、委員会でもこういうふうにあつてと。実態はテレビ見ましたとか、この成績は何なんですかということに対して何と答えたらいいだろうなど。

三浦次長

瀬野尾先生からもかねてご指摘いただいている数値到達目標っていうか、我々の目指す目標値が今後はっきり、例えば学力でも何の試験でとか、何でそのレベルまで上げるというのを目標なのか、じゃ、その結果、どうだったのか。ですから、今年度の評価は星が3つなんだとかというのが判断をしなきゃいけないんですが、おっしゃるとおり、もう一つなんだろうと。

鈴木委員

大きな高いところから見た何か欲しいなという感じ、感想でした。質問でなく感想でした。

内海教育長

ありがとうございます。

〔内海教育長〕他に質疑なしということで、では採決に移りたいと思えます。（「はい」の声あり）

それでは採決をいたします。本案に賛成の委員は挙手をお願いします。（「これで出すんですね」の声あり）

いろいろご質問・ご意見いただいたんですが、本年度はこれで出させていただきます。

（挙手全員）

採決の結果、議案第1号 平成30年度（平成29年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告については賛成全員で可決されました。

議事が終わりましたので、事務局にお返しします。

〔佐藤主査〕ありがとうございました。

6. 協議事項

（1）平成30年11月定例会について

日程案：平成30年11月30日（金）午前10時00分 松島町役場3階 301会議室

〔佐藤主査〕続きまして、6番協議事項に移ります。（1）平成30年11月定例会について、日程案として11月30日金曜日、午前10時から松島町役場3階301会議室で予定しています。この日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）よろしく申し上げます。

7. その他

(1) 松島第二小学校視察について

日程案：平成30年11月30日（金）午前8時45分 松島町役場集合

〔佐藤主査〕続きまして、7番その他に移ります。（1）松島第二小学校視察について、定例会の前に予定していますので午前8時45分まで役場にご参集願います。

(2) にかほ市教育委員会委嘱 公開授業研究会

日程：平成30年11月6日（火）金浦中学校

日程：平成30年11月16日（金）平沢小学校

〔佐藤主査〕（2）にかほ市公開授業研究会について、11月6日火曜日、金浦中学校には赤間委員に、11月16日金曜日、平沢小学校には瀬野尾教育長職務代理者に参加していただきますのでよろしくお願いいたします。

(3) 宮城県教育委員会指定 豊かな心を育む研究指定校事業（公開研究会）について

日程：平成30年11月19日（月）午後1時00分 松島第一小学校

〔佐藤主査〕（3）豊かな心を育む研究指定校事業（公開研究会）について、本日お手元に2次案内の文書をお配りしています。11月19日月曜日、午後1時から松島第一小学校で開催しますので、ご参加いただければと思います。

(4) 宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会（全体会議）について

日程：平成30年11月14日（水）午後1時30分 宮城県庁2階 講堂

〔佐藤主査〕（4）教育懇話会（全体会議）について、11月14日水曜日、午後1時30分から宮城県庁2階講堂で開催されます。内海教育長に出席していただきますので、よろしくお願いいたします。

(5) 宮城県町村教育長会研修会について

日程：平成30年11月22日（木）午後2時 宮城県自治会館9階

〔佐藤主査〕（5）宮城県町村教育長会研修会について、11月22日木曜日、午後2時から宮城県自治会館9階で開催されます。出席される委員には通知をお渡ししています。当日は役場から公用車を準備しておりますが、直接会場に向かわれる委員がおられましたら閉会后に私の方にお知らせください。

〔佐藤主査〕最後に、全体を通しましてご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

7. 閉会 午前11時15分

〔佐藤主査〕それでは、松島町教育委員会平成30年10月定例会を閉会したいと思います。

閉会の挨拶を瀬野尾教育長職務代理者より願います。

〔瀬野尾委員〕それでは、秋いろいろな行事が入って休日問わずに忙しい月だったと思いますが、また寒さも増してきますので私のように風邪を引かないように気をつけていけたらと思います。

今日は視察も含めて朝早くからどうもありがとうございました。お疲れさまでした。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 佐藤 弘也

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

平成30年11月30日

委 員

委 員